

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会議の名称	令和元年度 社会教育委員の会議（臨時会）		
開催日時	令和元年 8月27日（火）午後3時00分～午後4時55分		
開催場所	茅野市役所 701会議室		
出席者	宮坂昌一委員長、平出美彦副委員長、大下京子委員、小林洋一委員、宮坂章委員、矢崎智義委員、矢崎美知子委員、 平出生涯学習部長、藤森生涯学習課長、両角文化財課長、矢島中央公民館長、田中中央公民館教育係長、辻井図書館長、両角八ヶ岳総合博物館長、両角八ヶ岳総合博物館係長、柳川博物館古文書担当、山科考古館係長、伊藤生涯学習係長、伊藤文化芸術係長、畑中教育指導主事、柳平生涯学習係主査		
欠席者	なし		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>1 開会</p> <p>・臨時会について</p> <p>社会教育推進計画（冊子P38第4章進行管理（3））によりこの計画を推進するために社会教育委員の会議を開催し、計画の具体的施策の進捗状況の検証及び推進に向けた協議を行うことで今後毎年一回定期的に開催する。社会教育推進計画が平成30年3月策定となった。昨年1年が終わり事務事業評価等が終わったこの時期に、振り返りをおこなう。今回は、施策の柱ごと説明を行いご意見を伺う会としたい。</p>		
委員長	<p>2 委員長あいさつ</p> <p>こんにちは。保育園に勤めており夏休みはないわけですが、7月末にひと段落して8月19日にスタートしました。園に隣接する500坪ちょっとの農地をお借りしていろいろ野菜を作っていますが、昨日、全園児1本ずつ、もろこしをもちました。“なかなかもげない”そういう体験をさせたいな、と思ってやりました。その後、そのまま持って帰っては面白くないので、「皮をむいてみよう！」ということで、もろこしの皮をむいてみました。「1枚ずつむくんだよ」と話しました。何枚くらいあったと思いますか？思った以上に多く、16枚くらいの子が一番多かったです。そしてその後、子どもたちがなんて言ったかという、「こんなにあるからきっと、虫さんや鳥たちに食べられないようにしている。だから僕のもろこしは16枚もあったから、絶対に甘い！」と結論をだしているんですね。そういう子ども達の姿を見た時に、やはり実際に体験したり、自分の体で感じていくという事はいかに大きいかという事を感じたわけです。この社会教育の環境はまさに、自分の体や心で感じ取っていく、“自分の体で”という事がメインでないかなと思います。そんな子供たちがこれから大きくなるにつれて消えていくのでなくて、そういう思いを心の中に置きながら繋げていく事が茅野市の社会教育の充実に繋がるのかなと思っております。本日は、計画の進</p>		

	<p>捗状況についての話になりますが、委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
	<p>3 会議事項</p> <p>(1) 社会教育推進計画指標の見直しについて</p> <p>資料（茅野市社会教育推進計画冊子・2018年度茅野市社会教育推進計画進捗状況確認シート）に基づき、社会教育推進計画指標について生涯学習係長が説明を行う。</p>
中央公民館係長	<p>(2) 社会教育推進計画の進捗状況について</p> <p>① 中央公民館</p> <p>指標の変更については「委員の会議において変更」となっている。茅野市社会教育推進計画P12、地区公民館事業の最終目標を50から60にすること、分館事業の最終目標を560から580にすることによろしいか。</p> <p>(出席委員からは意見なく承認)</p>
委員	<p>高齢者が多くなっている。元気で暮らせるために、公民館へ毎年同じ方々が行くと思うが、温かい目で見ただけだったらと思う。中央病院のホールで先生方のグループ展示がおこなわれており良いと思いました。今はどこの会やボランティアでも若者が入ってこなくなっている。高齢者ばかりになっているが大事にしてもらいたいと思います。</p>
中央公民館係長	<p>講座内容の見直しをおこない、若い方も参加してもらっています。新しい講座では定員を超えて数を増やしている状態。そのような中で新しい方にもなるべく入ってきてもらい、続けられるよう考えていきたいと思う。芸術祭など発表の場を設けていく中で、活動を知っていただくところから地道ながら支援していきたいと考えています。</p>
副委員長	<p>公民館利用者数の内訳は中央公民館のみなのか、地区公民館を含めたものなのか。含めていけば、その比率を教えてください。</p>
中央公民館係長	<p>中央公民館のみの数字となっています。地区公民館の建物は地区コミュニティセンターと一緒にあり、利用者数として把握はしていますが、利用区分けの数字は把握していません。</p>
副委員長	<p>あの地区コミュニティセンターは、公民館と同じくらい使われているので含めて考えてもいいかと思う。コミュニティの使い方の分析もしてもらっていいかと思います。</p>
委員	<p>② 図書館</p> <p>ボランティア養成講座参加者が大勢いるが、それが繋がらないとのこと。その原因や養成講座に出られた方たちの感想などあったら教えてください。</p>

図書館長	ボランティアを長く続けておられる『おはなしクレヨン』さんに講師をお願いし開催しました。参加された方は、それぞれの地域や学校などでボランティア活動をされている方々で、「参考になった」と好評ではあったものの、そのまま茅野市の図書館でのボランティア活動には繋がりませんでした。地域や各施設でのボランティア活動はされている方々なので、テクニックは身に付いたということかと思います。
委員	一般市民が参加したということではないという理解でよろしいでしょうか。新しく活動したいという方々が養成講座に入ってボランティアをしてみたいということよりも、既にボランティアをやっている方々が自分のスキルアップのために受けたということでもよろしいでしょうか。
図書館長	一般市民向けに募集はしましたが、ほとんど学童クラブの先生やPTAでボランティアを行う方々の参加でした。
委員	一般市民向けの募集であり、多くはボランティアの方々であるとは思いますが、もっと一般市民の方に図書館の活動に関心を持ってもらえる機会になればいいと思いました。
委員	入館者数については、分室は入っていないくて本館のみの数字でしょうか。
図書館長	そのとおりです。
委員	貸出冊数に関係なく、図書館に来てくれた人の数でしょうか。
図書館長	出入口にカウンターがあり、本の貸し借りに関係なく建物に入った人を入館者数としています。
委員	ボランティアの支援団体数を増やすことについて、現在ある4つの支援団体の今あるその規模が大きくなるということにも繋がっていないという理解でよろしいでしょうか。
図書館長	今回の講座では、新たに入った方はいませんでした。図書館のボランティアとしては変化がなかった状態となります。
委員	分室の指標にはあがっていませんが、講座に参加された方が実際に地域でボランティアをやっている形であれば、おそらくその地域の底上げにはつながっていると評価をしていいのかと思う。決して無駄なことをしているわけではないと感じました。
委員	入館者数最終目標が156,000人で、中間を半分取ったという説明でしたがどういうことでしょうか。142,931人の数値は高くなかったのか。今までをみても、入館者数を伸ばすことは大変なことだったはずで、かなり高い目標を設定したということはそれなりの何かこうこうやれば増えるという事

	<p>があって設定したものでしょうか。</p>
図書館長	<p>最終目標値に向かって、これぐらい伸ばしていかないと難しいかと思い、中間目標値にしました。</p>
委員	<p>時間を延ばしたけれど、予想外に伸びなかったということでしょうか。</p>
図書館長	<p>2018年度(平成30年)から開館時間を1時間延長しましたが、かえって入館者数は減になっています。滞在時間は伸びているが、新たな入館者には繋がっていないのではないかと思います。</p>
委員	<p>評価欄の中に、予算と入館者数とに相関があるとの記載がありますが、本当にそうでしょうか。</p>
図書館長	<p>150万円増となったことで、段違いに入館者数が増えています。</p>
委員	<p>何が効いていると思いますか。</p>
図書館長	<p>本の購入件数が増えると利用者数が単純に増えていくと思います。入館者数も本を借りに来る方が主になっているのでベストセラーによります。入館者数が最近減っているひとつの要因は、新聞や雑誌の件数を減らしてしまったので、来館する習慣が減ってしまったことにあるかと思います。なかなか数字と連動させて調べることができてはいませんが、この金額と入館者数と比べてみると明らかに金額が上がれば入館者も増えるという状態が見て取れます。</p>
委員	<p>成果が数字として示せて、その辺を訴えていければ予算要求もうまくいくのではないのでしょうか。</p>
図書館長	<p>そのように訴えていければいいのですが・・・。</p>
副委員長	<p>③ 八ヶ岳総合博物館 収集資料も多くなり溢れているという話がありましたが、建物の安全など色々考えるとやっぱり専用の部分に収納されるべきものだろうと思う。現状、中央通路がどんな感じか分かりませんが、避難経路などチェックをしているのか、満足できているのか、早急に要望していく点だと思います。専用の収納箱が必要かと思いますが、現状の中央通路はどうなっているのでしょうか。</p>
総合博物館係長	<p>具体的な数字を持ち合わせていませんが、人が2人行き交うのに十分なスペースはあります。</p>
副委員長	<p>建築法などでひっかかる場合もあるので、使う方の安全も考えると早急に検討した方が良いでしょう。</p>

委員	<p>プラネタリウムの公民館分館への出前があるとのことですが、分館が使用したいのはおそらく土日の要望だと思います。博物館でもおそらく週末に使用したいと思うのですが、地元の分館活動で紙飛行機大会とプラネタリウム鑑賞を企画したところ、時期を夏休みに入る直前にしたかったが、夏休み時期だと博物館使用で埋まっているとのことなので6月になりました。子どもたちは博物館に行くより「そこにあるなら見たい」と参加者も多く、実際に見るとすごい歓声をあげて喜んでいる姿がありました。実際、公民館分館での貸出要望はどのくらいあるのでしょうか。</p>
総合博物館係長	<p>モバイルプラネタリウムは、市職による分館担当職員会と、年1回の分館職員研修会で紹介をしているので、徐々に浸透してきました。毎年、4月以降要望が多くなっています。博物館では土日祝日の午前と午後に投影するという原則的な運用がありますが、博物館での投影よりも出前投影の方が鑑賞者が多く見込めるような場合については、あらかじめ1か月前の広報で、博物館での投影はないことを周知し、出前投影を行っています。</p> <p>博物館のプラネタリウムの投影ができる職員が2人であり、目標値の4,500人が妥当ではないかと思っています。回数では、出前投影が38回で入場者数は2,256人でした。昨年度のプラネタリウムの館内投影や出前投影を含める入場者数は4,172人でそのうちの出前投影が2,256人と半分以上なのでフル稼働の状態です。</p>
委員	<p>子ども達は本格的な物を凄く楽しみにしているので、続けてもらいたいです。</p>
生涯学習部長	<p>市内だけでなく郡内の小中学校からも問い合わせがあるほどの人気の投影設備です。上手く予定を組みながらご要望に応じていきたいと考えます。</p>
総合博物館係長	<p>投影のカレンダーをホームページ上で随時更新しています。</p>
委員長	<p>市民研究員の養成講座人数の多さに驚きました。79人の参加のうち30人が認定されたことで、生涯学習として自分から学んでいこうという人たちがこんなに大勢いることを示している数字ではないかと思います。認定された方々はその後、博物館のボランティアになったり支援したりするだけでなく、学校や公民館などの講座に講師として来ていただけるルートはあるのでしょうか。</p>
総合博物館係長	<p>養成講座とは、市民の皆さんが博物館を利用して自分の関心のある分野について研究学習する際に、その市民の方をすでにその段階で主任研究員と呼びます。現在の分野は植物・キノコ・シダ・苔・天文・実験工作・語り伝承があります。主任研究員は毎月1~2回の活動であり、令和元年度では年間、植物15回、キノコ15回、シダ13回、苔13回、天文38回、実験工作34回、語り伝承13回という活動状況です。1期3年で平成25年度から始まり、今3期目の1年目ということになります。各期の最終年度に認定</p>

<p>文化財課長</p>	<p>が行われますが、年に8回以上3年間の合計で24回以上の参加率と、各グループの指導者の推薦、企画運営会議からの承認を得ると認定ということになります。また、認定者の集まりによって天文グループと実験工作グループができました。今年度から特別星空観望会をほぼ一月おきに開催し、その講師をしています。博物館では北部中学校の天体ドームを使って博物館の学芸員が講師となり毎月1回講座を開催していますが、博物館構内で開催するものでは、使用していなかった天体望遠鏡を市民研究員の方が手入れをして今年度から毎月1回観望会を実施し、その講師として活躍しています。このように講師認定を受けた方が中心となって自分の勉強の成果を市民の方に観望会という形で提供している事例があります。</p> <p>実験工作グループは科学実験や工作の制作を内容とし、理科大教授を先生に迎え、今年度は34回講義を受けました。認定後は、博物館で子ども向けの工作講座と子ども科学工作クラブという講座で年間を通じ12～13回開催し講師をしていただいています。</p> <p>④ 尖石縄文考古館 ⑤ 神長官守矢史料館</p> <p>茅野市社会教育推進計画P29④成果指標の最終目標値15,000人を「縄文の里指定史跡整備活用基本計画」に示す数値と整合をとるため12,000人に修正していただきたい。 (出席委員からは意見なく承認)</p>
<p>生涯学習係長</p>	<p>⑥ 生涯学習課</p> <p>茅野市社会教育推進計画P36④成果指標の単位が%で分かりにくいので、人単位で計画策定時104人、最終目標数値120人に修正していただきたい。 (出席委員からは意見なく承認)</p>
<p>文化芸術係長</p>	<p>茅野市社会教育推進計画進捗状況確認シートP6 目標指標「成人式への参加率」の平成28年度該当627人に対し428人参加で60%、平成30年度該当者712人に対し431人参加ということで60.5%に修正していただきたい。 (出席委員からは意見なく承認)</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>ここで、新しい委員さんもいらっしゃいますので社会教育推進計画ができた経緯の説明をしておきたいと思います。第5次総合計画の中に「子育て・教育・文化」という分野があり、教育大綱の中で「幼児教育の充実」、「学校教育の充実」、「生涯学習の充実」の3つの柱があります。「生涯学習の充実」の中に、「社会教育の推進」、「スポーツの推進」、「文化・芸術の推進」、「文化財の保護・活用」の4つがあります。この分野別計画ということで社会教育の推進についてはこの社会教育推進計画を策定しました。他にも文化芸術推進計画、スポーツ推進計画、縄文の里史跡整備活用基本計画を策定しました。この社会教育推進計画につきましては、スポーツにかかわる記述が特にありません。したがって、スポーツ推進計画の中で</p>

	<p>進行管理をしていくことになり、社会教育委員の皆様の業務としては、スポーツ健康課を交えての報告を行いご意見をいただくこととなります。ただし、この計画に関しては、文化芸術の関係や、スポーツの推進はありません。この計画については社会教育施設（公民館・図書館・博物館・史料館）の事務事業評価を全て入れ込んだ中に、この「地域づくり人づくり」の内容も盛り込んでいる計画ができたということだけご承知ください。</p>
委員	<p>講演会や講習会を個々に行っていますが、それぞれタイアップしてできるようなものもあるのではないのでしょうか。一緒にやると事業効率が上がると思います。例えば、公民館で活動するスポーツとスポーツ健康課で活動するスポーツ、スポーツ協会で行っているものが、単独ではなくてお互い協力してやればもっと効率が上がってくると思うのですが。</p>
生涯学習課長	<p>効率化という面で、生涯学習部の中でできるものについては調整をしていきたいと思います。</p>
委員	<p>社会教育推進計画P31①目的「りんどうの里 高原生涯学習都市ちの」のこの文章は、茅野市の歴史や個人的な想いもあるので、大事にして消さないでほしいです。</p>
生涯学習課長	<p>生涯学習都市宣言に至って生涯学習推進指針はもとより、茅野市の教育にも今後も（永久的に）生涯学習の歩みの中に残していかななくてはならない記述であるかと思うので、担保されているというご理解でお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>今回の振り返りの中で一番大事なことは、PDCA がきちんと回っているかどうかだと思います。個々の指標がどうかということも大事ですが、プランがあり、ドゥがあり、アクションがあり、チェックをおこなった後、アクションから始まっているかです。今回配布された確認シートをみると、上の方がプランで総合評価の中の主な取組内容成果はドゥ、チェックは課題で、アクションが改革改善の具体的内容になっていく。PDCA サイクルは回していかないと意味がないので、今回の改革、具体的な内容を今度はプランにして回していくことが本来の姿であると思います。そういう内容になっているのかどうか、もう一度チェックをしていただきたいです。何のためにこの計画を策定し、その成果がどうだったのか、きちんとまわせているかが大事な気がします。そこを間違えると、ただ入館者数を伸ばすことだけになってしまうので気をつけないといけないと思います。以前の図書館の目標も貸出冊数としていて、冊数を増すために漫画を入れることになってしまった。何のためにこのプランを作っているのか、今年何をやったか、その結果こうであった、それに対して次はどうしていくのか、こうしたサイクルを作ることが一番大事だと思います。図書館について言えば、読書の活動の楽しさを繋げる活動のためにボランティア交流をやりましょうといったその指標が入館者数になる。今回、開館時間で伸ばした傾向としてどこにもでてきていない。ただ結果として、開館時間を延ばしてみた</p>

	<p>が成果は出なかったのであれば、アクションとすればまずそれをやめる話になる。その代わりのアクションとして予算を増やしてもらいましょうかという形になって、それを検証しながら回していくのがこの手法の一番大事なことだと思います。</p> <p>皆さんが本当に工夫されご苦労されていますが、いま一度何のためにやっているのか、日常の活動の中で考えていただければ有意義なものになっていくと思います。</p>
委員	<p>総合博物館のモバイルプラネタリウムや神長官守矢史料館の入館者数が増えたことを聞くと、市民の方の新しい興味がすごくでていると思います。今までしてきたことをそのまま継続するのではなく、もっと知的な刺激を求めていることを報告の中で感じ、これが本当の社会教育ではないかと思いました。新しいことの提供は市民の方も積極的に参加すると思います。博物館ボランティアの参加状況を聞くと、いろんなところで市民の力があると思う。そういうものを活用して開かれた学校づくり事業の少なくした分を、学校開放講座が充実した素晴らしいものになってほしいと考えます。</p>
生涯学習課長	<p>PDCA の関係は、今年が最初の年ということもあり、手探り状態で行ったような部分もあります。来年度以降については、この資料の出し方など検討させてもらい、工夫していきたいと思います。指標だけにとらわれず、事業などの分析も含め次年度に繋げていきたいと思っています。</p>
副委員長	<p>社会的な部分では評価が出ているが、考古館や神長官の観光インフラの側面も非常に良いと思うのでタイアップしてもらい、市民レベルを上げる面も含めてぜひ考えてほしい。茅野市の魅力を作ってほしいです。</p>
生涯学習部長	<p>来年度も厳しい予算の中でいろんな知恵を出し合い、魅力を高めるにはいろんな物があったり、人がいたりすれば人も当然来てくれる。そこに有名な先生を呼んでくれば興味があって、大勢の方がつめかけてくれますが、なかなかそうはいかない中で、社会教育・生涯学習の分野も職員と市民の皆さんの力をいただき、これを崩さないようにしていきたいと考えています。</p>
生涯学習課長	<p>それでは、本日いただいたご意見を来年に向けての意見としてとりまとめ、どのように取り組んでいくか、こちらの方でまとめていきたいと思っています。また今後年に一回このような進行管理のための委員会は、社会教育委員の会議の「臨時会」として開催するようになります。おそらく時期としては施策評価ですとか二次評価というものが終わった 8 月くらいになると思います。8 月くらいになるということは、予算要求に反映できることにもなってきますので、年に 1 回はこういった進行管理の会を持つということでよろしく願いいたします。それから、社会教育・生涯学習の世界は、一年ですぐに成果が出るというものではおそくないと思いますので、やはり長く地道な活動というものが非常に大事かと思っています。今後も委員さん方にはご協力をよろしく願いいたします。</p>

委員長

それぞれ担当している皆様方が、「もっともっと」となりがちになるのではないかとの思いとともに、やっぱり「ゆっくりゆっくり」というところを大事にしながらやってかないと笑顔がなくなり、カリカリしてしまうのではないかと思ってしまう。数値も大事ですけども、ゆっくりとやり、私たちが楽しくなければ広がっていかないかなと思いますのでよろしくお願いいいたします。

4 閉会

～午後4時55分 会議終了～